

緩和ケアを学ぼう会 特別編 2017 in 鶴岡・三川



ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド 作成の経緯と今後の展望

がんの在宅療養 地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクト

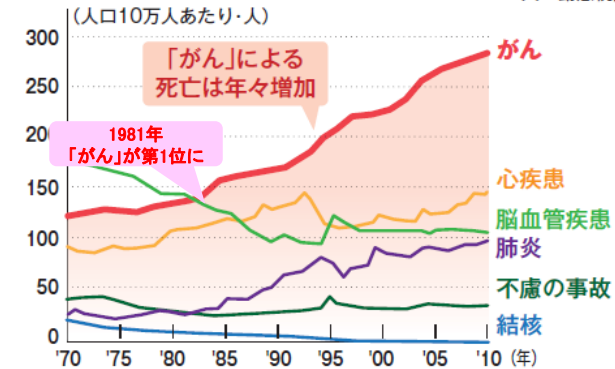


帝京大学医学部内科学講座
渡邊 清高

2017年10月31日
鶴岡市立荘内病院

がんになる人はどのくらいいるの？

主な死因別にみた死亡率の年次推移 厚生労働省／人口動態統計

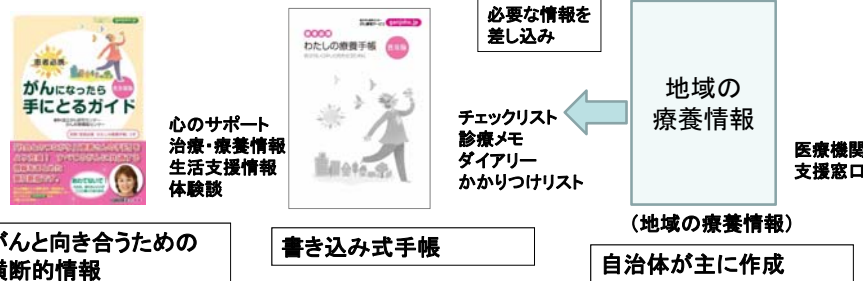


年間37万人の方ががんで亡くなり、
1年間で86万人の方が新たにがんと診断されています。
(死亡 2015年データ、罹患 2013年データ)

患者必携とは

がん対策推進基本計画(19年6月策定)より

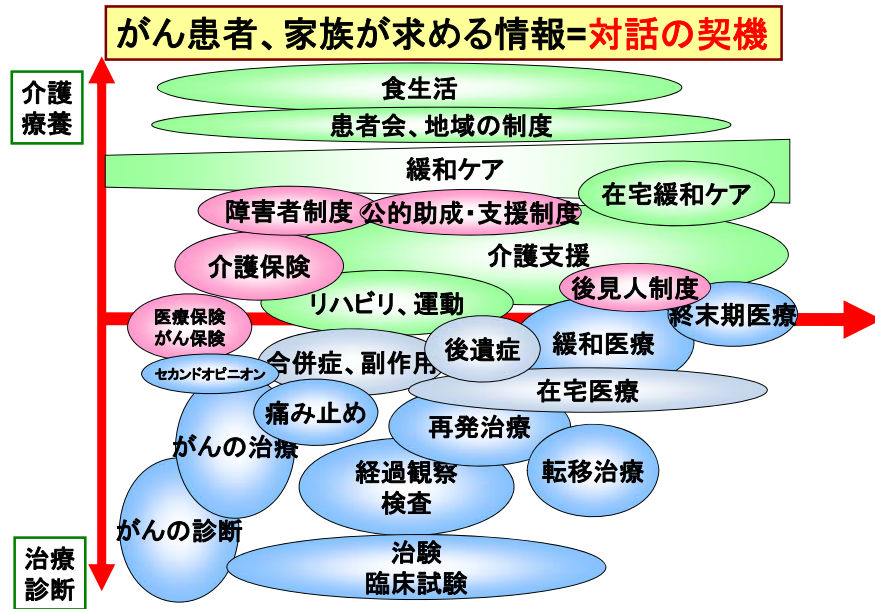
- がん患者が必要な情報を取りまとめた**患者必携**を作成し、拠点病院等ががん診療を行っている医療機関に提供していく。
- 患者必携**等に含まれる情報をすべてのがん患者及びその家族が入手できるようにすることを目標とする。



書籍・手帳 患者必携 がんになったら手にとるガイド
学研メディカル秀順社 2013年
インターネット「がん情報サービス」でも無料で閲覧可

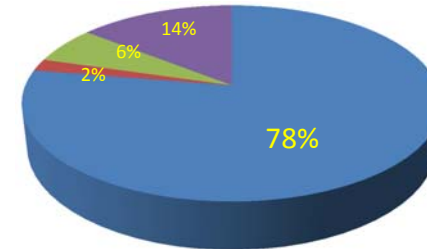
情報の「場」をつくる





地域の療養情報のニーズと期待

Q.現在4県について「地域の療養情報」冊子を作成しています。今後ほかの地域でも作成すべきと思いますか。



- すべての地域で作成すべき
- あってもなくてもよい
- 必要ない
- その他

「どうして自分の県はないのですか？」

国立がんセンターがん対策情報センター ウェブアンケート H21年12月
http://ganjoho.ncc.go.jp/public/qa_links/brochure/hikkei_index.html

がん患者さん・ご家族向け「地域の療養情報」の作成

36道府県で公開 のべ80冊作成・更新(2017年6月)



顔の見える連携から 患者さん・ご家族・地域とともに歩む医療へ



チーム医療のイメージ

患者必携
 がんになったら手にとるガイド
 国立がん研究センター
 がん対策情報センター

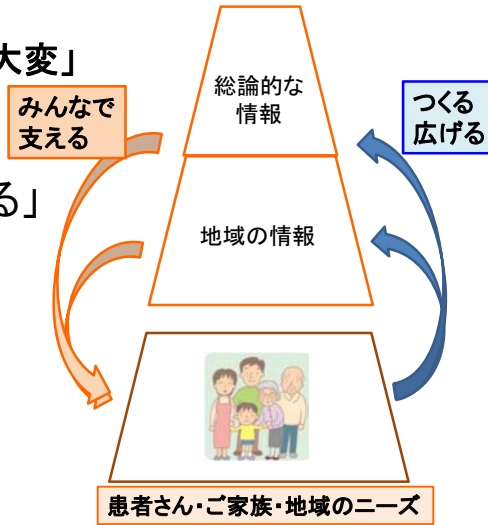
みんなで作る、地域で支える

「ニーズは明らか、でも大変」
だから...

「情報をつくる、支える」

緩和ケア
在宅医療
公的助成・支援
地域の医療機関
地域のリソース
独自の社会支援制度
患者会・ボランティア団体

歴史・風土・文化・教育・言語
気候・風俗・家族観・死生観



患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド

<http://homecare.umin.jp>

がんの在宅療養

HOME 在宅療養ガイド 活動・フォーラム

みんなで支える チームで支える

「がんの在宅療養」サイトは在宅療養に関する情報をがん患者さんのご家族、医療従事者、介護・福祉スタッフ向けに提供しています

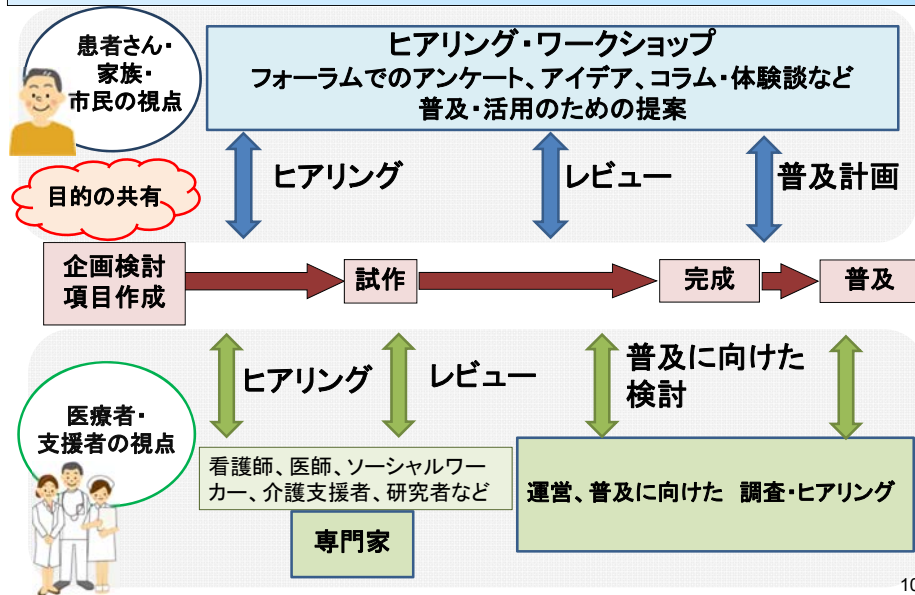
必要ところから読む

- 第1章 在宅での療養を始める
- 第2章 「最期のとき」に向き合うこと
- 第3章 人生の最期をともに生きる
- 第4章 お別れの時期

2015年10月公開
全文を無料で閲覧可能
(インターネット)
全国の
がん診療連携拠点病院に
見本版を提供
2016年5月書籍化

がん医療フォーラム 仙台 2015

療養支援の情報づくり



がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド

第1章 在宅での療養を始める

本人と家族の心構えと準備
一緒に療養を支えるパートナーを探す
在宅での療養を始めるにあたって

第2章 「最期のとき」に向き合うこと

「最期を考える」ことに向き合う
在宅での療養について考える

第3章 人生の最期をともに生きる

人生の最期をともに過ごす
一心と体の変化に寄り添うには

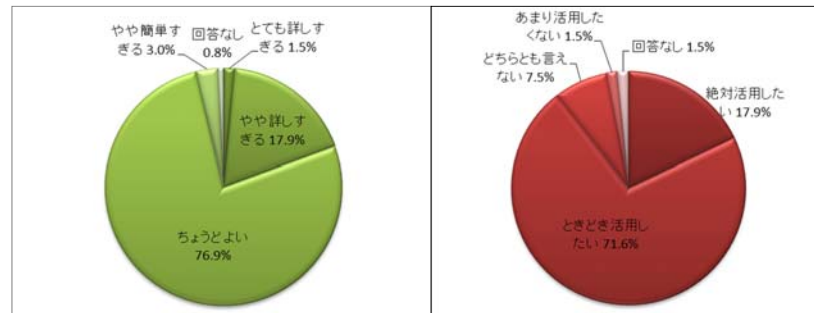
第4章 お別れの時期

看取りのときを迎える
大切なひとを失ったご家族へ



在宅での療養を考えたい、
寄り添いたいとき、
役に立つ情報をまとめた
冊子

内容はちょうどよいですか？ 説明や相談支援のときに活用したいと思いますか？



加えた方がよい情報

- ・現状のままで良い ...9 件
- ・相談窓口や遺族会などの案内 ...5 件
- ・事務的な手続き（銀行、保険など）の詳細 ...4 件
- ・介護保険の具体的な内容 ...4 件
- ・エンディングノートのように書きこめるもの ...4 件
- ・在宅から看取るまでの過程をわかりやすく図式で表わす ...6 件
- ・在宅に必要な介護用具をもっと具体的に紹介する ...3 件
- ・在宅療養が難しくなった場合の入院に関して ...2 件
- ・在宅療養を始めるにあたっての段取り ...2 件
- ・むしろボリュームが多く感じる ...4 件

情報活用(配布・普及)の可能性、課題 配布・活用を促す取り組みの提案

- ・院内の図書館・待合など目につく場所へ設置する ...14 件
- ・がん情報サロンに設置する ...6 件
- ・配布用にもっと簡略化したものがあると良い ...11 件
- ・在宅療養を決める前の段階で活用したい ...3 件
- ・在宅のイメージが持てない方に有効的だと思う ...3 件
- ・一般の方へも広報してほしい ...2 件
- ・市民講座、研修会、学会等で紹介していく ...6 件
- ・在宅を検討中の患者さん、ご家族に直接渡したい ...7 件
- ・文字のサイズをもう少し大きくした方が良い ...5 件

情報が届き、在宅療養の場で効果的に活用されるためのご提案・ご意見

- ・院内の相談窓口や図書室、待合室などへ設置 ...11 件
- ・全国の図書館に設置 ...4 件
- ・HP やテレビ、新聞で広報 ...4 件
- ・公的な場所(図書館・役所・薬局など)へ設置 ...3 件
- ・がん拠点病院のみに置くのではなく、地域生活支援センター、在宅医や在宅介護支援事務所に配布 ...9 件
- ・本屋で誰でも入手できるようにする ...6 件
- ・冊子をもとにした勉強会を開いたり、がん患者のご家族から意見をいただく ...2 件
- ・まずは医療関係者が在宅療養に向けて理解を深め、紹介できるようにする ...4 件
- ・導入のためのパンフレット、簡略化...17 件

緩和ケアを学ぼう会 特別編
2017 in 鶴岡・三川

の提案

がんを患った方とそのご家族の希望に沿った療養を実現できる地域づくりのために、医療・介護・福祉・行政の幅広い職種がお互いを理解し合い、

患者さんやご家族、ご遺族の思いを大切にしながら協働していくことが重要です。

山形県鶴岡・三川地域の在宅療養を支える専門職が一堂に会し、「がん患者さんが希望する場所で最期まで過ごすことのできる仕組みづくり」のさらなる進歩のために、療養する患者さんにご家族を支える情報の共有と連携の重要性について話し合います。



アンケートへのご協力をお願い

- お答えいただいた結果は、よりよい緩和ケア・療養支援の取り組みを普及していくための資料にさせていただきます。

研修会終了後、
出口で回収させていただきます。